

麦栽培情報 4月号

平成31年3月25日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

1 生育概況

31年産麦の生育は、生育期間の高温の影響で平年より早く、旺盛に推移しています。出穂期については、平年に比べて7~10日程度早まることが予想されますが、播種時期の違いで生育に差がみられるので、麦の生育に応じて適期の栽培管理に努めましょう。

また、今後の降雨による麦への影響は大きいいため、枕地のまわりや排水溝を整備し、ほ場内に滞水しないように排水対策を徹底しましょう。

予想出穂期	「シロガネコムギ」, 「ミナミノカオリ」とも
11月下旬播種	3月30日頃
12月上旬播種	4月7日頃

※予想出穂期は今後の気温次第で前後する可能性があります。

2 赤かび病防除

◎防除適期は、開花期（出穂後7~10日）です。

※出穂期は、ほ場全体の40~50%の茎が出穂した日になります。

<防除の目安> ※11月下旬播種の場合

品種名	防除適期	薬剤名	10a使用量	備考
シロガネコムギ ミナミノカオリ	4月12日~	トップジンM 粉剤DL	4kg	出穂期以降2回以内 収穫14日前まで
		トップジンM 水和剤	100g/水100L (1,000倍)	

※播種時期によって生育差があるため、防除にあたっては必ず開花(白い葯が見える)を確認し、適期防除に努めましょう

※赤かび病抵抗性がやや弱い「ミナミノカオリ」は2回防除(1回目防除の7~10日後)を徹底しましょう

3 「ミナミノカオリ」の穂揃期追肥

「ミナミノカオリ」は、子実タンパク質含有率(基準値12.0%)を確保するため、必ず穂揃期追肥を実施します。また、31年産麦から肥料銘柄と穂揃期追肥の施用量を変更しています。

(変更前)

肥料名		10a 施用量
一発追肥	穂揃期追肥	
麦のかおり	硫安	15kg
	尿素	3.5kg/100L×2

(変更後)

肥料名		10a 施用量
一発追肥	穂揃期追肥	
硬質小麦用 追肥 3004	硫安	10kg
	尿素	5kg/100L×1

※高温時に尿素的葉面散布を実施すると葉焼けが激しくなることがあります

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベルを確認!
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底!
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄!
- 4 防除履歴の正確な記帳!